

**情報盤**

AL・AD・S-ABNタイプ共通

**施工・取扱説明書**

施工編

取扱編

**目次**

**施工編**

掲載ページ

1. 基準寸法図	1
2. 施工に際して(ディープ・ラージボックスの場合)	2
3. 施工に際して(スモールボックスの場合)	3
4. 情報盤の取付	4
5. TELケーブル接続方法(マルチメディアパネルM4/M8)	5
6. TVケーブル結線方法(TV機器付の場合)	6
7. LANケーブル結線方法	7
8. 電源線接続方法(電源タップの場合)	8
9. ネットワーク機器の収容棚等の設置について(スモールボックスの場合)	9
10. 機器設置金具付情報盤(スモールボックスタイプ)	9

**取扱編**

掲載ページ

1. 情報配線システムについて	11
2. 機器接続手順	12
3. 接続上のご注意	13
安全上のご注意	14
製品保証書	14

**設置場所について**

- 本製品は、メンテナンスしやすく、配線効率の良い住宅の最上階の納戸等に設置することをおすすめいたします。
- テレビやラジオなどの家電製品が置かれた所には設置しないでください。受信障害や通信障害の原因になる可能性があります。

施工事業者様へ

- 本製品の施工には、電気工事士の資格が必要です。
- 本製品の施工前に必ずこのマニュアルをお読みください。

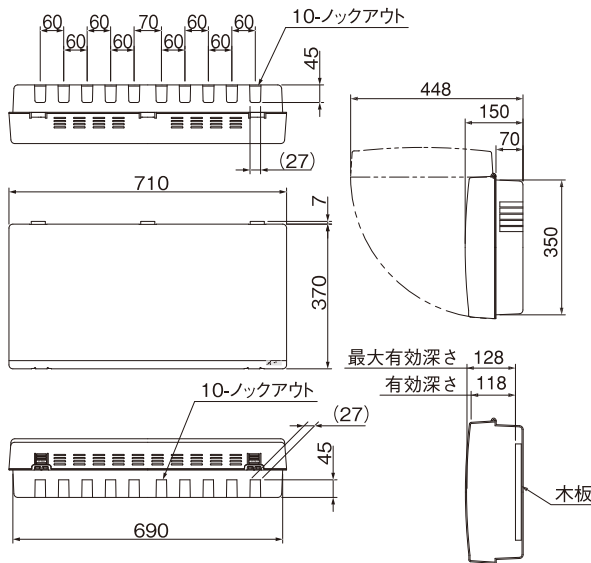
**因幡電機産業株式会社**  
産機カンパニー ハウジング統括部

AB-施取-23-0

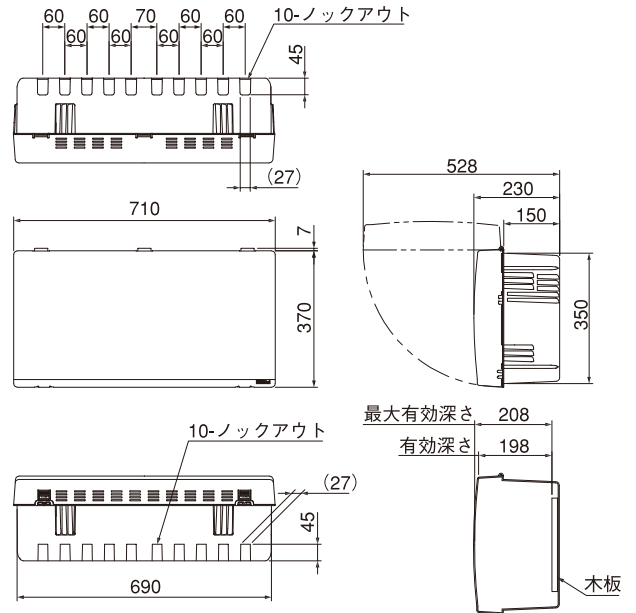
※あらかじめ「安全上のご注意」(P14)をご確認ください。

## 1 基準寸法図

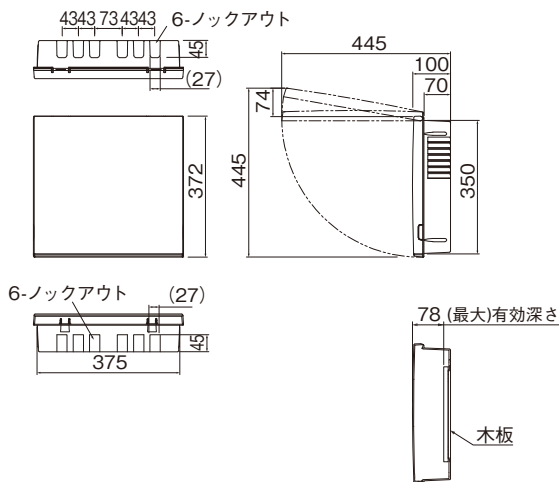
### ディープボックス



### ラージボックス

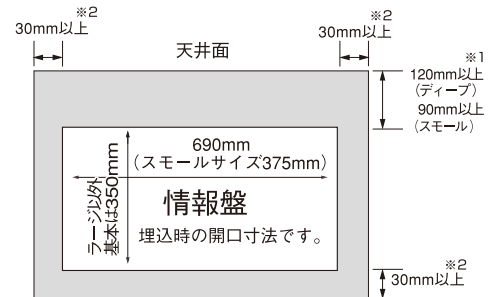


### スモールボックス

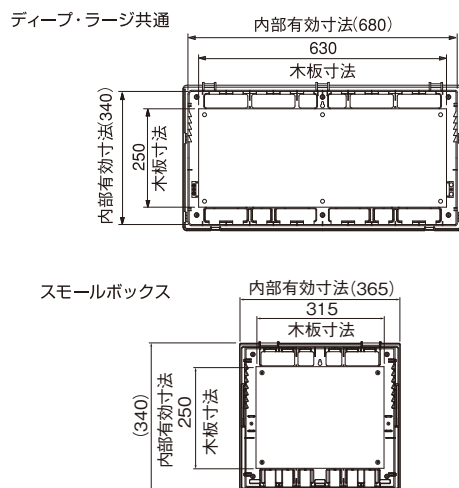


### 設置スペース・開口寸法図

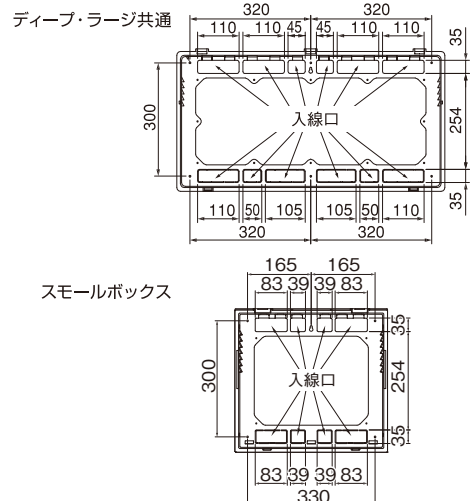
設置面には、下図の網掛け部の寸法以上を確保してください。  
 ※1: 情報盤から天面まではカバーの開閉のために必要です。  
 ※2: 情報盤の下面と左右は、メンテナンス及びスリットの放熱のために必要です。



### カバーを取り外した図



### 背面入線口図 (下部ノックアウトは現場でキトリ)

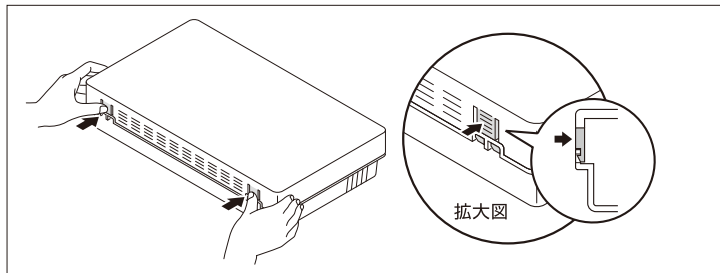


❗ ラージボックスを半埋め込み設置する場合、本体とリブの構造上 両側面開口部に隙間が発生するため露出専用となります。

## 2 施工に際して(ディープ・ラージボックスの場合)

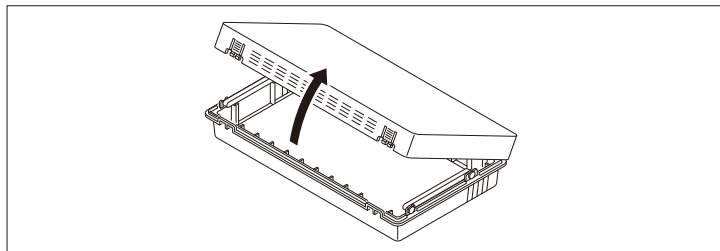
### カバーの開け方

1.カバー下面の両サイドにあるツメを押し、カバーの引っ掛けをはずします。

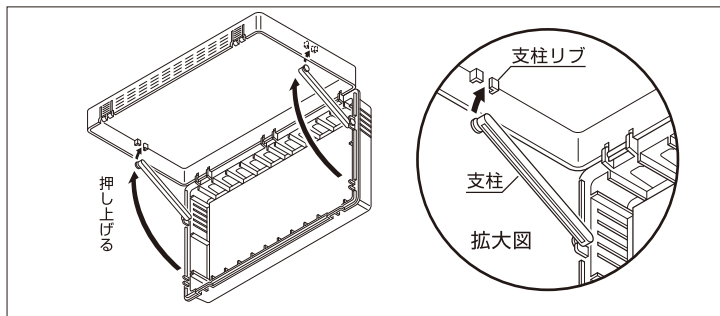


2.カバーを上を持ち上げて開けます。

- ❗ 必ずツメを押し、カバーを開けてください。ツメを押さずに無理にカバーを開けると、ツメが折れる場合があります。 ※折れたツメは修復できません。



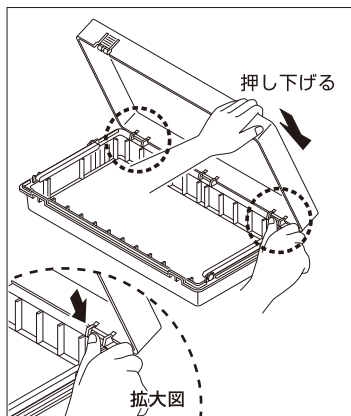
3.BOXカバーは開いた状態で保持できるようにベース両側サイドに支柱があります。この支柱を下から上に押し上げ、カバー部裏面の支柱リブに止めて保持してください。



### カバーのはずし方・取り付け方

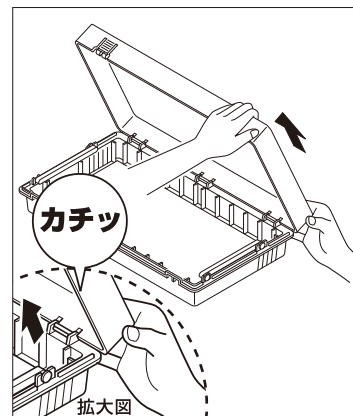
1.カバーは3点(スモールボックスの場合は2点)のヒンジのうち、両端の2点で止まっています。カバーを押し下げようとして、このヒンジをはずします。

#### カバーのはずし方



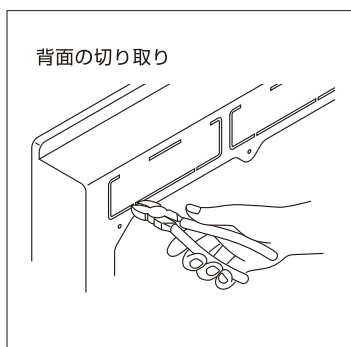
2.装着は、ヒンジを引っ掛け、取り外し時と同様の両端の2点を、カバーを押し上げるようにして行います。この時、「カチッ」と音がしてスムーズに開閉できることを確認してください。

#### カバーの取り付け方

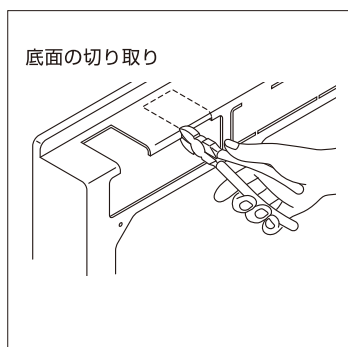


### ノックアウト加工方法

1.BOX本体裏側から背面のノックアウトゲート部をニッパー等で切り取ります。



2.切り取り済み背面のノックアウトから底面のノックアウト「キリコミ」部にニッパー等で切り込みを入れ、底面のノックアウトを切り取ります。

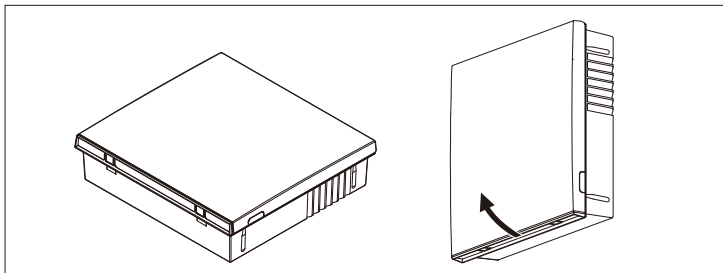


- ❗ 配線等をキズつけたりケガをしないように、切り取った部分のバリはきれいに仕上げてください。

### 3 施工に際して(スモールボックスの場合)

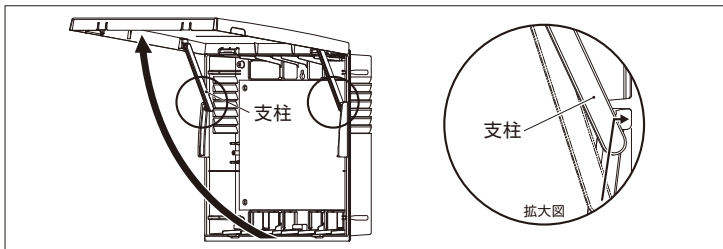
#### カバーの開け方

- 1.カバー下部の溝に両手を引っ掛け、手前に引き上げてください。



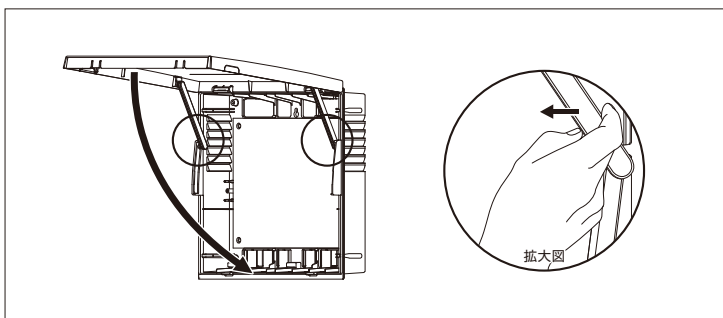
- 2.両サイドの支柱が固定されるまで、カバーを引き上げてください。

❗ カバーが開いた状態を保持できない場合は支柱を押しして引っ掛けてください。



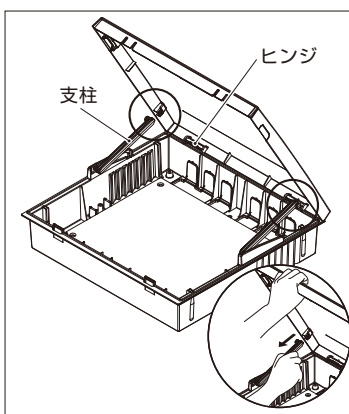
- 3.カバーを閉じる場合は、必ずカバーを持ち、固定されている支柱を片方ずつ手前に引き、ロックを解除してください。

❗ 両サイドの支柱を同時にロック解除すると、カバーで手を挟み怪我をする恐れがあります。

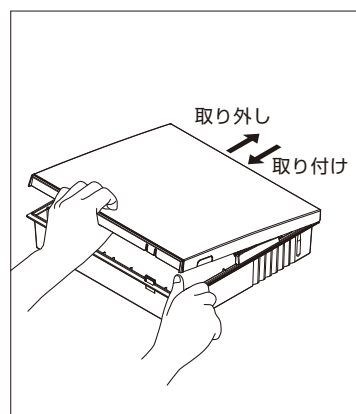


#### カバーの取り外し方・取り付け方

- 1.カバーの取り外し方はまず両サイドの支柱をカバーから外してください。次に本体をしっかりと持ちカバーを押し出しヒンジを外してください。

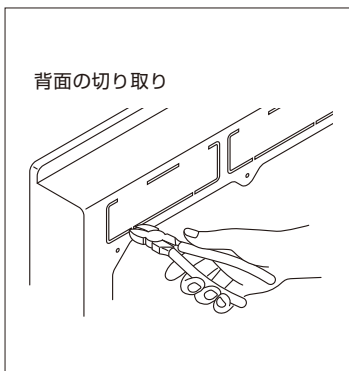


- 2.カバーの取り付け方は、ヒンジを引っ掛け、「カチッ」と音がするまで力強く引っ張りはめてください。次に両サイドの支柱を取り付けてください。この時、スムーズに開閉できることを確認してください。

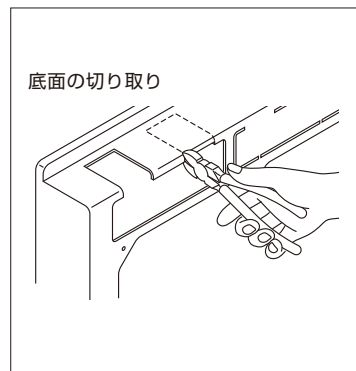


#### ノックアウト加工方法

- 1.BOX本体裏側から背面のノックアウトゲート部をニッパー等で切り取ります。



- 2.切り取り済み背面のノックアウトから底面のノックアウト「キリコミ」部にニッパー等で切り込みを入れ、底面のノックアウトを切り取ります。



❗ 配線等をキズつけたりケガをしないように、切り取った部分のバリはきれいに仕上げてください。

## 4 情報盤の取付

### 露出の場合

- 1.各ケーブル、配管を壁内敷設後、1ページの背面入線口図に従い間仕切り壁を開口し、そこからケーブル等を引出し入線口からBOX内部に取出します。(梱包材の天板に各寸法が表記されています)
- 2.情報盤BOX本体は付属の木ネジ(φ4×35)にて上下4又は6箇所を下図のように固定します。

**!** 木ネジ固定部に、材木等がない場合、必ず補強下地を入れてください。

取付壁面は必ず平面であることを確認してください。平面ではない壁面に取り付けますとカバーが閉まらない場合があります。

壁面からの最大出幅

タイプ	出幅 (mm)
ディープ	150
ラージ	230
スモール	100

### 埋込の場合

- 1.1ページの開口寸法図に従い間仕切り壁の木下地にタテ棧木を組みます。
- 2.各ケーブル、配管を壁内敷設し、ボード貼付け、開口及びクロス仕上げをします。
- 3.ケーブル等は一旦露出時の背面入線口から引き出しBOX内部に取出し、BOXを埋込む(押込む)と同時に下図の様に天面ロックアウト側にずらして設置します。
- 4.情報盤BOX本体は付属の木ネジ(φ4×35)にて横側4箇所ですてタテ棧木に固定します。(この時BOXの木ネジ保持用リブをご利用ください)

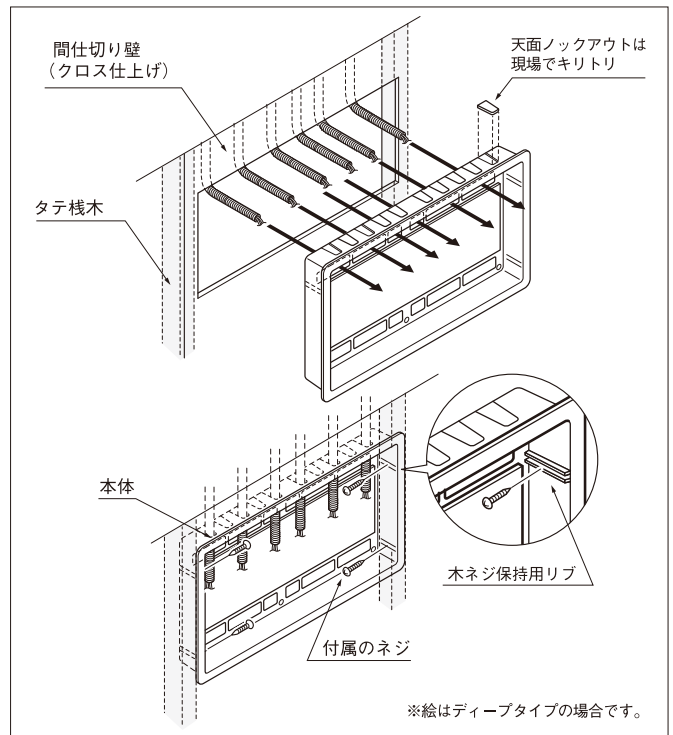
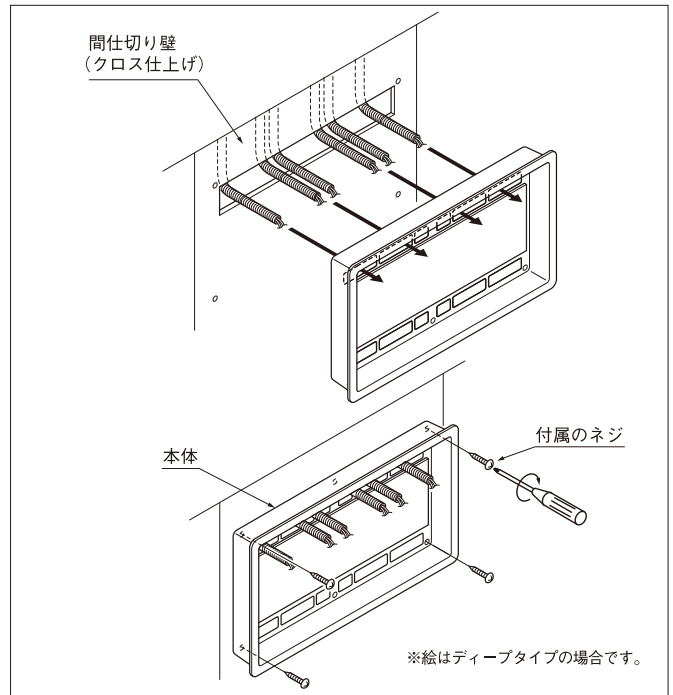
壁面からの最大出幅 ※70mm埋込として

タイプ	出幅 (mm)	タイプ	出幅 (mm)
ディープ	80	スモール	30

**!** 取り付けは開口寸法通りで行ってください。無理に取り付けますと、BOXが変形しカバーの開閉に支障をきたす場合があります。

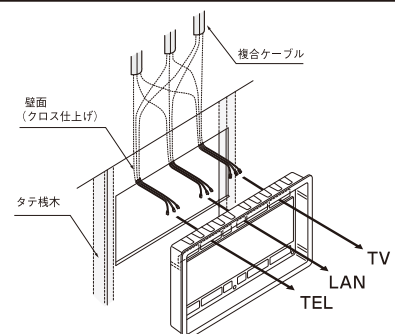
取付にあたっては、付属の木ネジ以外を使用したり、木ネジ保持用リブ以外の箇所に木ネジを埋めたりしないようにしてください。

ラージボックスは埋込設置は対応していません。



### してはいけない行為 (禁止行為)

- BOX内部はネットワーク機器を収容するスペースです。余長分のケーブル等を入れないでください。
- 複合ケーブルをご利用の場合、壁内等で各ケーブル (TEL/LAN/TV) 毎に束ねてBOXに引き入れてください。(左図参照)



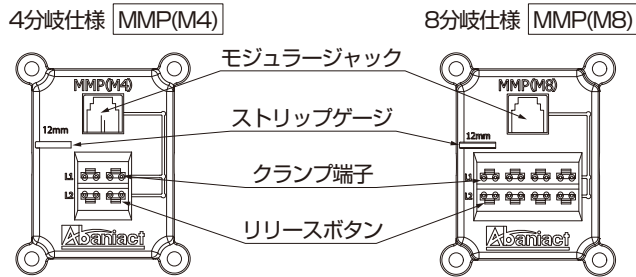
# 5 TELケーブル接続方法（マルチメディアパネルM4/M8）

お客様の電話・インターネット利用のご要望が分かっている場合は、ご利用状況に合わせて接続してください。  
不明の場合は①加入電話回線で接続してください。

**注** 加入電話回線を解約して、光電話もしくはIP電話に変更される場合は、マルチメディアパネルに接続されているモジュージャックの引き込みを②光電話（CATV・IP電話）に差し替えてください。

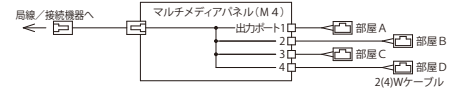
## マルチメディアパネル（Mシリーズ）の場合

### 各部の名称

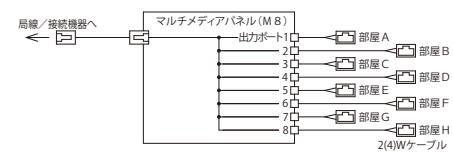


### 端子結線図

#### マルチメディアパネル（M4）

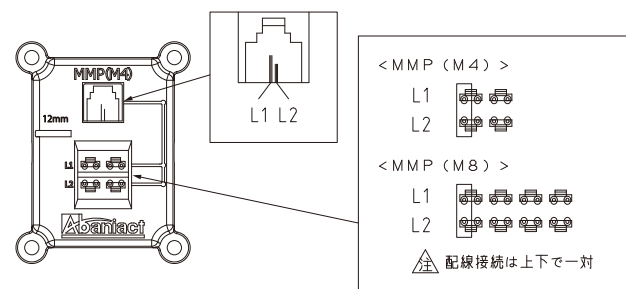


#### マルチメディアパネル（M8）

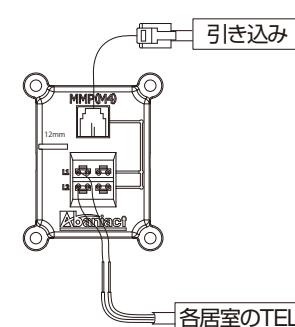


### 端子極性図

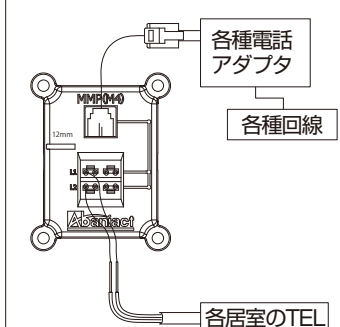
配線接続は上下で一对となります。



### ①加入電話（アナログ）

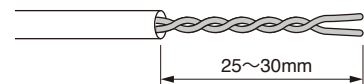


### ②光電話（CATV・IP電話）

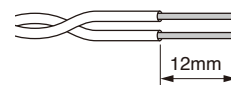


## ケーブル結線方法

1. ケーブルシースを25～30mmカットします。  
※使用可能ケーブル Cu（銅）単線 導体径：φ0.4～φ0.65  
**注** 電線を傷つけないように注意してください。

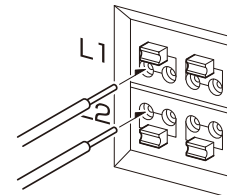


2. ケーブル先端を12mmストリップします。  
※マルチメディアパネルの正面にあるストリップゲージを使用できます。  
**注** ストリップ長が短すぎる場合、導通不良のおそれがあります。  
**注** ストリップ長が長すぎる場合、回路間のショート、露出部腐食のおそれがあります。



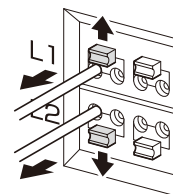
3. マルチメディアパネルにケーブルを結線します。  
ケーブル挿入の際、ケーブルの色とクランプ端子の関係は以下になっておりますので必ず確認してください。

L1側	シロ/アオ
L2側	アオ



## ケーブルの外し方

- リリースボタンをマイナスドライバー等で押し下げてください。  
ケーブルを引き離すことができます。
- 注** ケーブルリリース時は強く押しすぎないようにしてください。
  - 注** リリースボタンが壊れるおそれがあります。



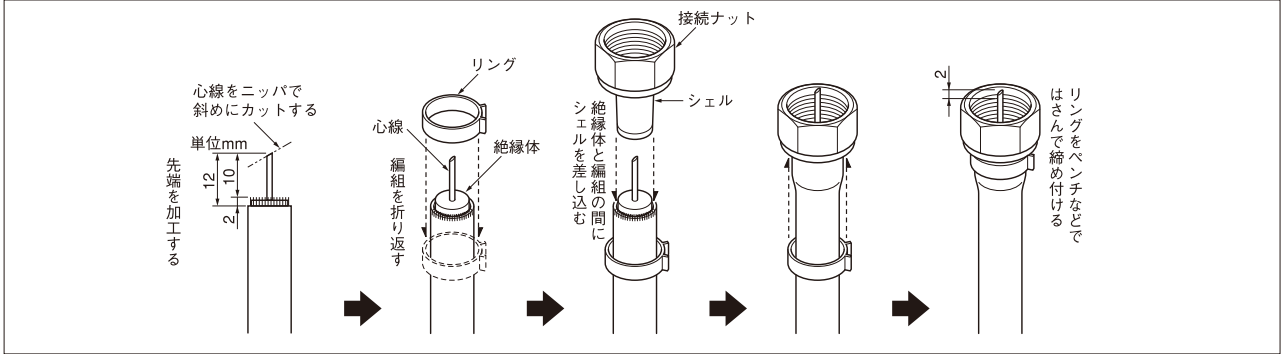
リリースボタン  
(押下力:約12N)

# 6 TVケーブル結線方法 (TV機器付の場合)

## 同軸ケーブル (S-5C-FB) へのF型接栓 結線方法

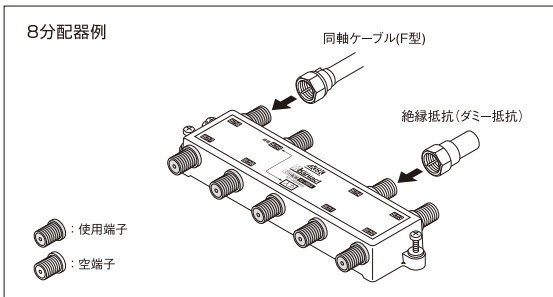
同軸ケーブルの接続施工は、下図のように行ってください。

※同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線・編組を傷つきますと断線の原因となります。また、心線と編組は絶対に接触しないようにしてください。

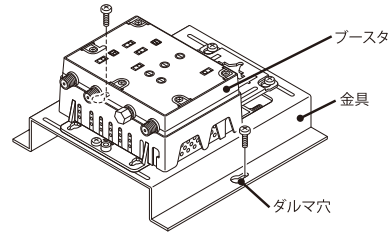


## 分配器の接続

必ず、TV分配器の空端子には絶縁抵抗 (ダミー抵抗) を接続してください。



※ブースタ搭載機種については、分配器はブースタ金具の下に設置されています。金具の両耳のダルマ穴を緩め、金具を取り外してケーブルを接続してください。



## マルチブースタへの接続方法 (ブースタ搭載機種の場合)

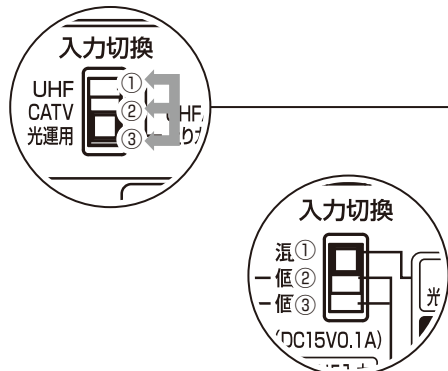
マルチブースタの設定に必要な基本項目です。

※詳細は付属のブースタマニュアルをご参照ください。

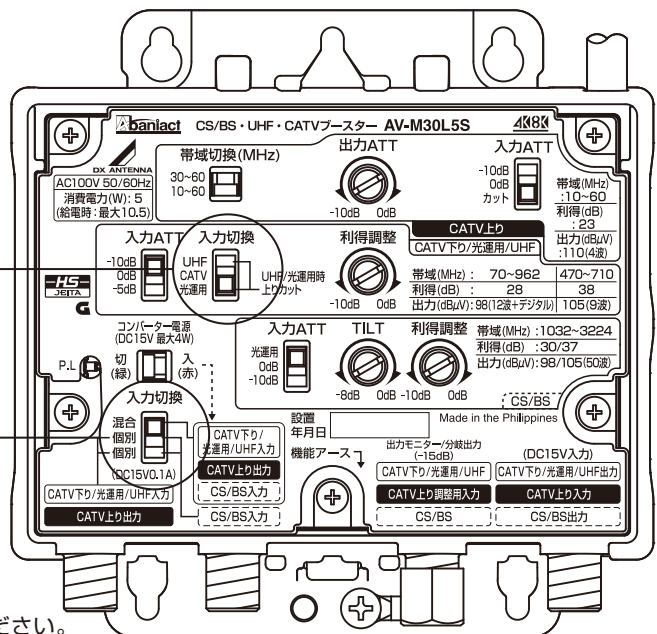
地上波の受信手段によってスイッチを切り替えてください。

- ① : UHFアンテナ
- ② : CATV
- ③ : 光運用【FTTHサービス】

※記載のイラストは品番AV-M30L5Sのものとなります。



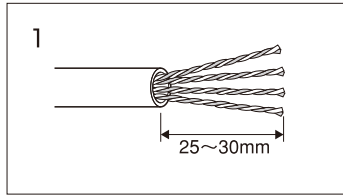
地上波とBS/CSの入力は、混合入力か別入力かで、スイッチの上下を切り替えてください。



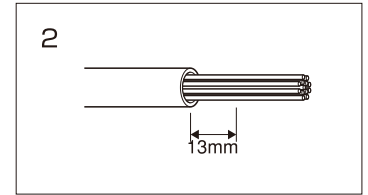
# 7 LANケーブル結線方法

## LANモジュラージャック加工方法 (Cat5eの場合)

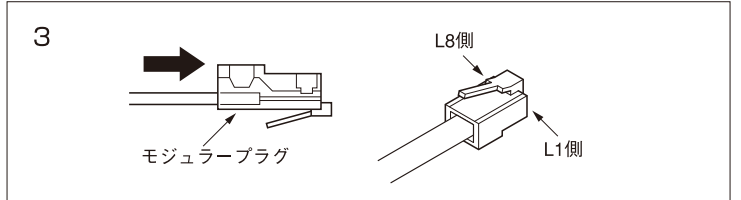
1. ケーブルの被覆を約25mm～30mm剥ぎます。  
※芯線にキズを付けないようにしてください。



2. 芯線の撚りをもどし、シースの端から13mm残して切断します。  
※ケーブルの残しは13mm以上にも以下にもしないでください。

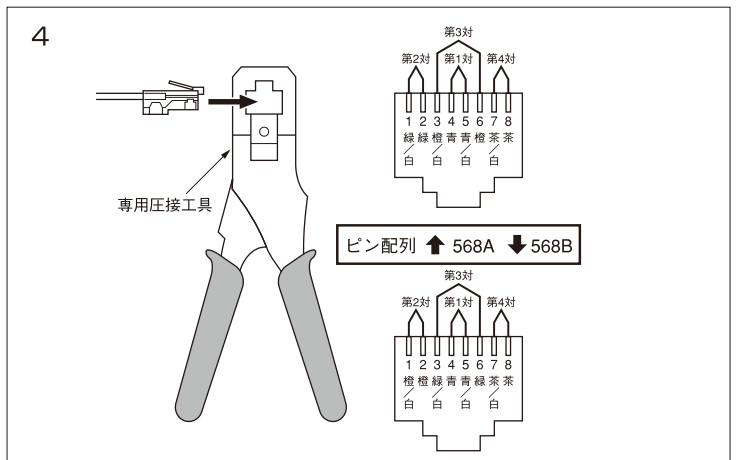


3. ケーブルの先端の色線を以下のように一列に揃え、モジュラープラグの先端に突き当たるまで挿入します。



※ケーブル色線配列は568Aと568Bの2種類があります。  
必ず情報コンセント側の結線と合わせてください。

4. ケーブルが挿入されたモジュラープラグを専用の圧接工具にて圧着します。



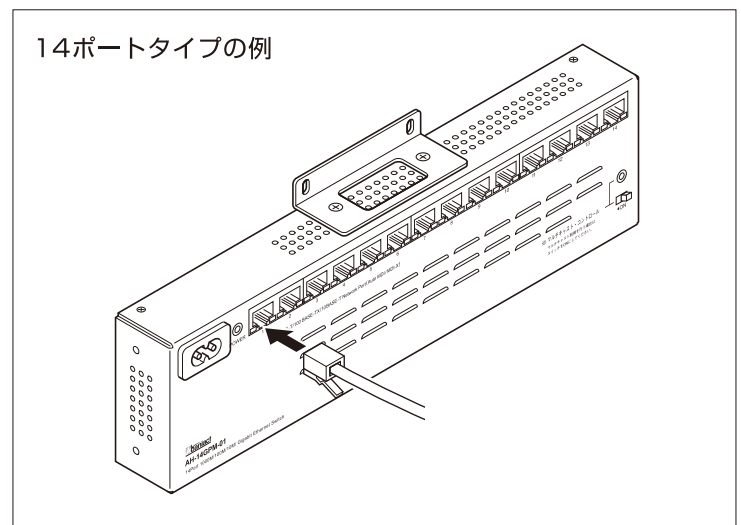
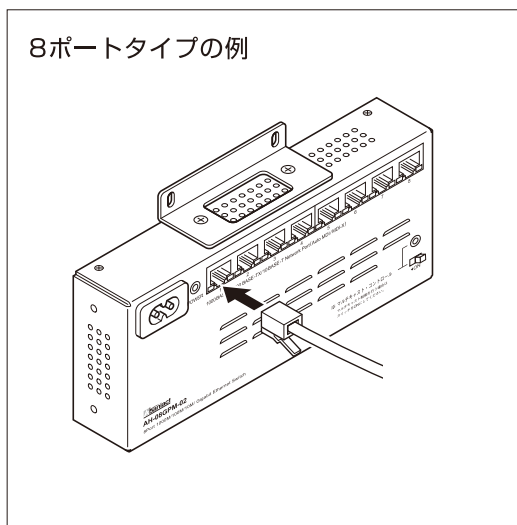
## スイッチングHUBへの結線方法 (HUB搭載機器の場合)

LANケーブル端末加工後、HUBに整然と差し込んでください。

ポートは正面に備えられています。

※HUB搭載なしの場合は、後程お施主様がLANケーブルを接続しやすいよう、配線を分かり易い位置にまとめておいてください。

※HUBの詳しい取扱い方法は、添付の取扱説明書をご参照ください。

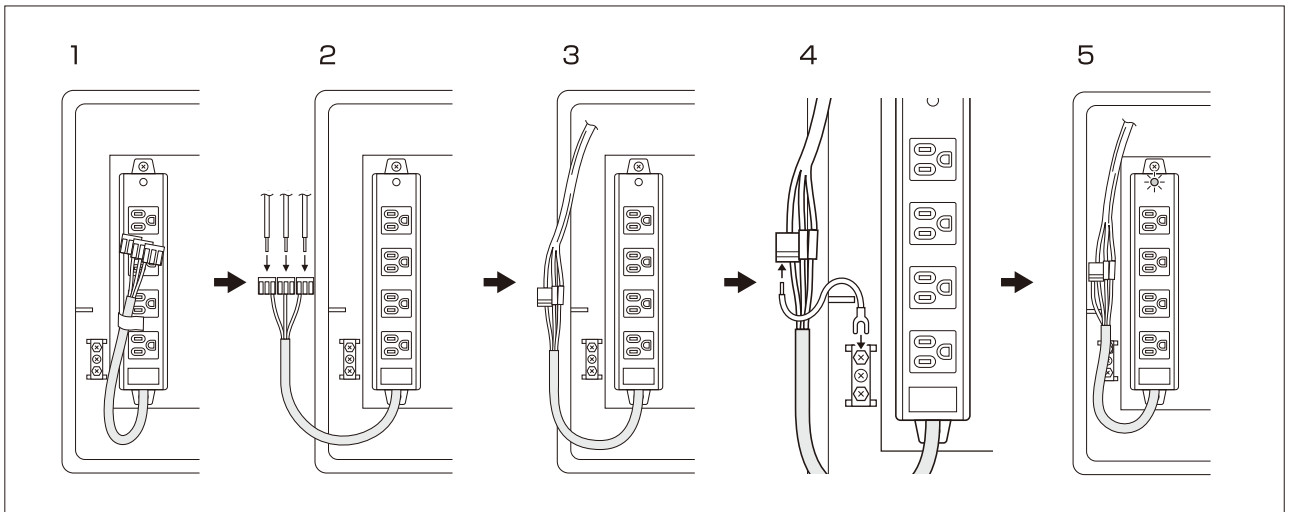




## 8 電源線接続方法（電源タップ付の場合）

### 電源タップへの接続・仕上げ手順

1. 仮止めされているコードを外し、各線に差込コネクタが接続されていることを確認します。
2. 電源線の被覆を剥き、各線色同士、差込コネクタを利用して結線します。  
※差込コネクタへの結線方法は、下記を参照ください。
3. 確実に結線されたことを確認した上で、BOX右端のガタースペースに整然と収めます。  
**注** お客様の手に触れないよう、しっかりと収めてください。
4. BOX付属のアース端子へは、差込コネクタから渡り線を施工してください。
5. プレーカを上げて、通電を示すパイロットランプが点灯していることを確認します。

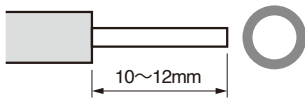


### 結線前に

対応電線：Cu単線 φ1.6、φ2.0

1V7本より線 0.2~2.5mm<sup>2</sup>  
可とうより線 0.14~4.0mm<sup>2</sup>

曲がりをまっすぐにしてください。



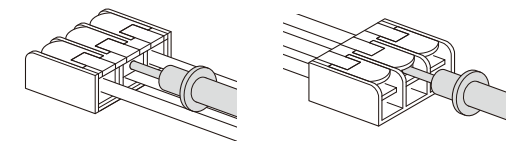
- 注意** ・指を挟まれないようご注意ください。  
・差し込みが不十分だと導通不良や発熱のおそれがあります。

### 検電方法

検電穴は電線挿入口側と反対側の2ヶ所です。

電線挿入口側

反対側



### 差込コネクタへの結線方法

電線のむき出し

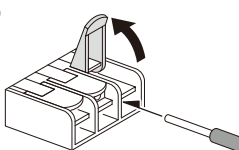
①



ストリップゲージで長さを確認し、正しい長さにおき出してください。

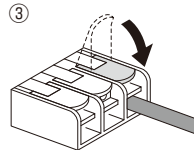
結線（単線・より線 共通）

②



レバーを押し上げむき出した電線を突き当たるまで差し込んでください。目視で確認してください。

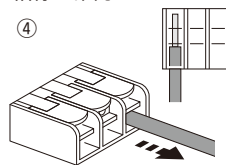
③



レバーを押し下げれば結線完了です。（指はさみに注意してください）

結線の確認

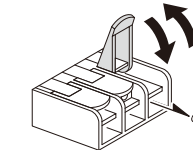
④



電線を1本ずつ軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。（強く引っ張らないでください）

電線の取り外し

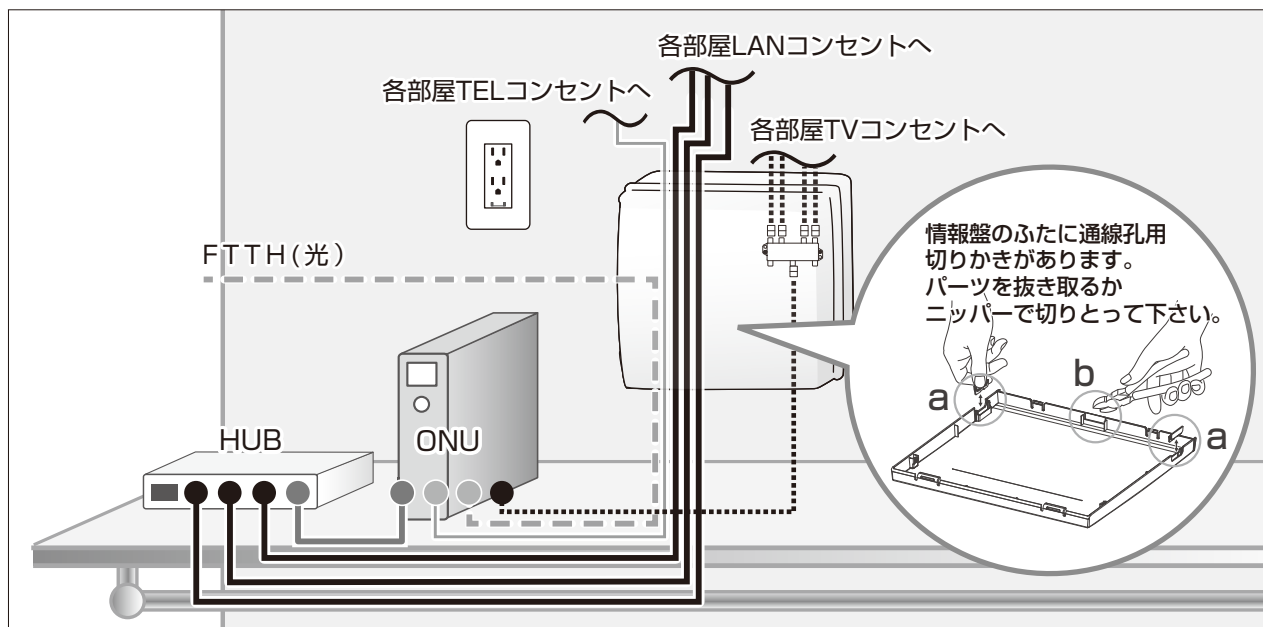
①



①レバーを押し上げます。  
②電線を引き抜いてください。  
③レバーを戻します。

## 9 ネットワーク機器の収容棚等の設置について(スモールボックスの場合)

情報盤をクローゼット等に設置し、その横にモデムやルータ等を設置する場合、ケーブルの取り出しが必要となります。この場合、情報盤のカバー部には右図のように通線孔用切りかきが3箇所あり、aはパーツ抜き取り式、bは切りとり式となっています。このノックからケーブルを貫通させることが可能です。



施工編

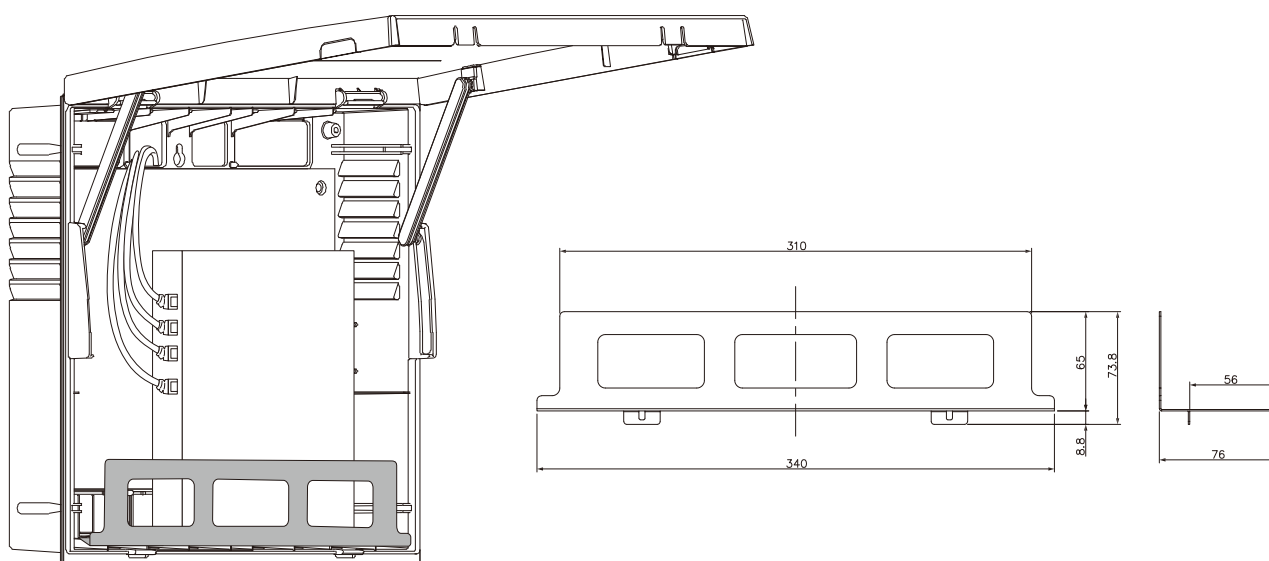
取扱編

## 10 機器設置金具付情報盤(スモールボックスタイプ)

情報盤内にネットワーク機器を設置する事が出来ます。

設置可能な有効スペースは横310mm×高280mm×奥行70mmです。

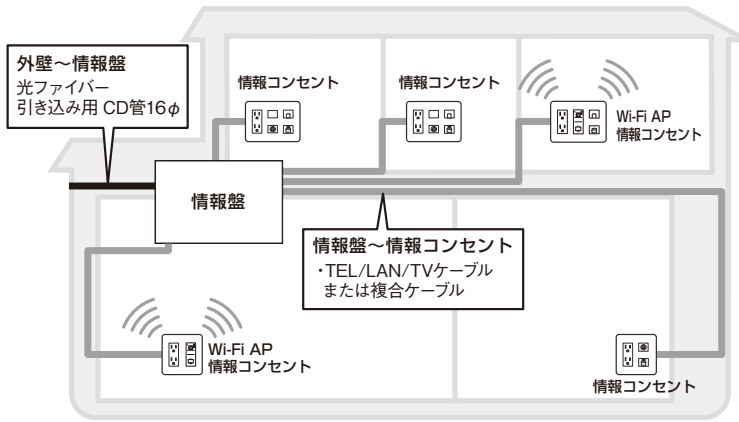
※木板に機器が設置される場合は設置可能有効スペースが小さくなる為収容したい機器が設置可能か十分確認ください。





## 1 情報配線システムについて

### システム構成例



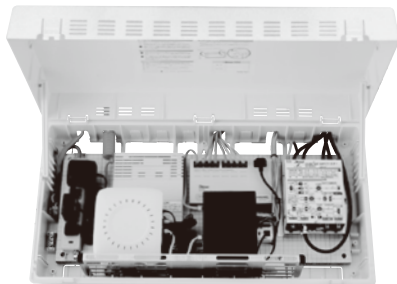
インターネット接続機器を情報盤につなぐことで、各部屋の情報コンセントでネット利用ができます。

### 〈特長〉

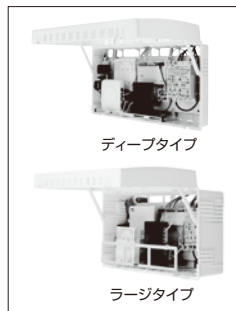
1. FTTH、CATV、ADSLなど全てのブロードバンドサービス、通信業者にも対応しています。
2. 光電話（IP電話）、テレビ放送サービスを合わせたトリプルプレイにも対応しています。
3. 各部屋から、パソコン、ゲーム機、テレビ、ブルーレイレコーダなどをネット接続できます。
4. 接続は有線LANですので、確実につながり、セキュリティ面も安心してお使いいただけます。

### 情報盤とは

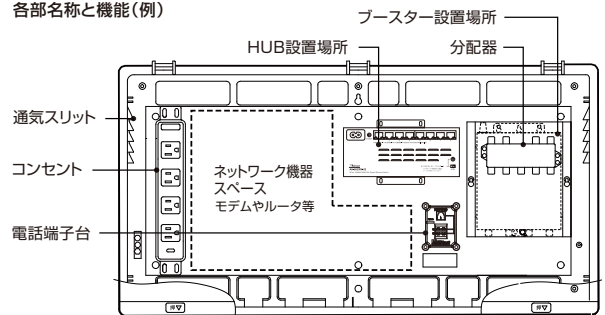
ブロードバンドに対応したインフラシステムを構築するための弱電集中BOXです。電話回線を分配、切替する電話端子台と宅内LANを構築するスイッチングハブ、及びTV系の機器（ブースターや分配器）を収容可能な住宅の制御盤です。ディープタイプ、ラージタイプ、スモールタイプがあります。



機器収容イメージ



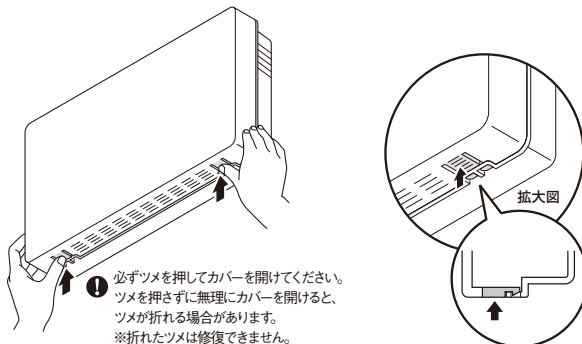
### 各部名称と機能(例)



### 情報盤の開閉について

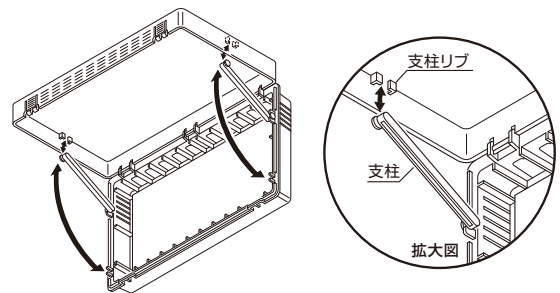
#### ディープ・ラージボックスの場合

- ①カバー下部の両サイドにあるツメを押し、カバーの引っ掛けをはずします。



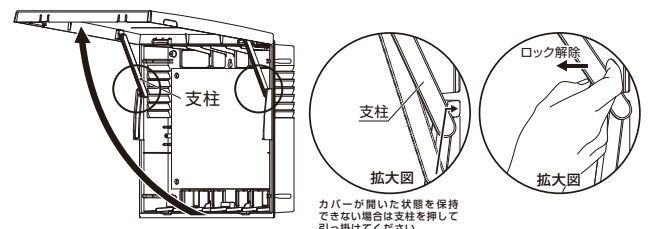
- ②カバーは開いた状態で保持できるようにベース両側サイドに支柱があります。この支柱を下から上に押し上げ、カバー部裏面の支柱リブに止めて保持してください。

- ③カバーを閉じる場合は、必ずカバーを持ち、固定されている支柱を片方ずつ支柱リブから外してください。



#### スモールボックスの場合

- ①カバー下部の溝に両手を引っ掛け、両サイドの支柱が固定されるまで、カバーを引き上げてください。
- ②カバーを閉じる場合は、必ずカバーを持ち、固定されている支柱を片方ずつ手前に引き、ロックを解除してください。

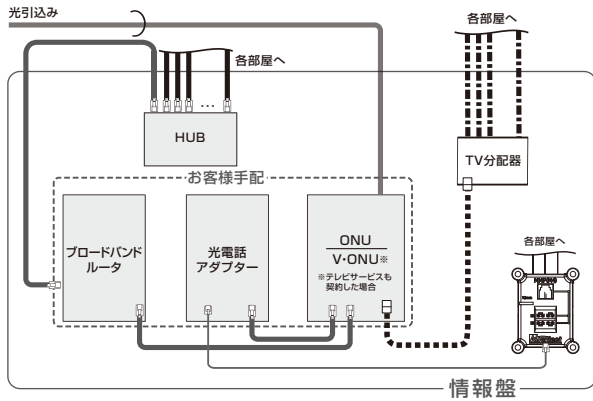


## 2 機器接続手順

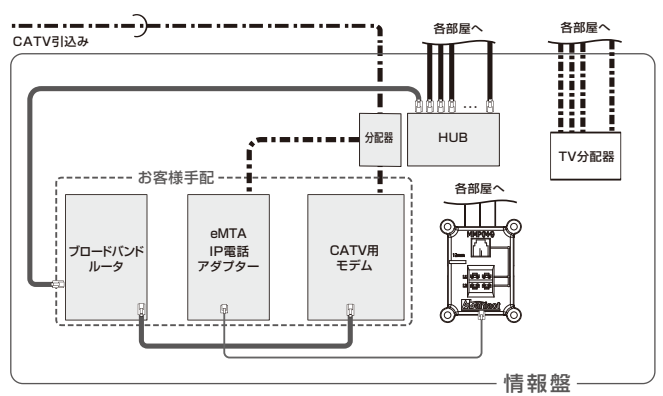
**接続手順** ※一例です。詳しくは、ご契約の通信業者様もしくは機器付属の取扱説明書を参考に接続してください。

- ①ご契約の通信業者様にて、情報盤内に各回線を引き込み、モデム・ONUなどで終端します。
- ②各通信機器を所定のケーブルで接続します。

### 光ファイバーの場合



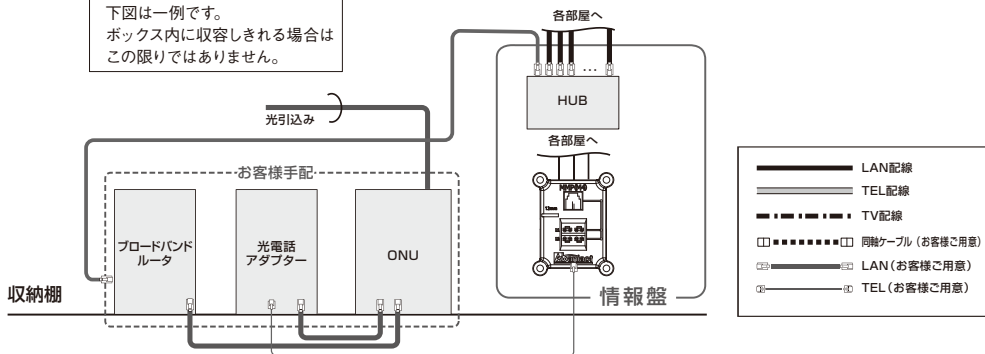
### CATVの場合



### スモールタイプの場合

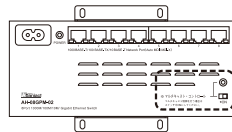
スモールボックスの場合は、情報機器を棚などのボックス外に設置し、接続します。

下図は一例です。  
ボックス内に収容しきれない場合は  
この限りではありません。



### IPv6映像配信サービス利用時のご注意

光回線において「IPv6マルチキャスト通信」を利用した映像配信サービスをご契約の場合は、HUB本体の「マルチキャスト・コントロール」スイッチをONにして、ご利用ください。



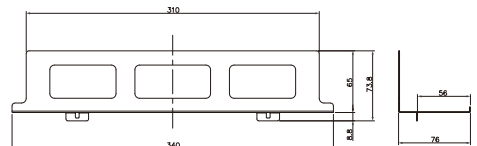
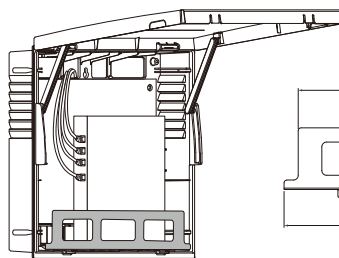
※ マルチキャスト・コントロール  
マルチキャスト制御を行う場合は  
スイッチをONにしてください。



### 機器設置金具付情報盤(スモールボックスタイプ)

情報盤内にネットワーク機器を設置する事が出来ます。  
設置可能な有効スペースは横310mm×高280mm×奥行70mmです。

※木板に機器が設置される場合は設置可能な有効スペースが小さくなる為収容したい機器が設置可能が十分確認ください。

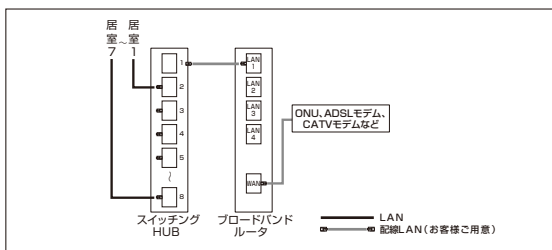
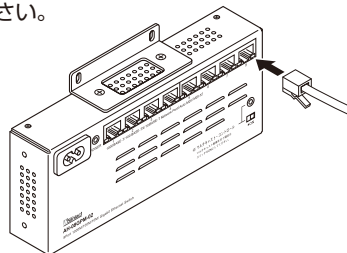


### 3 接続上のご注意

#### LAN (ネット利用) に関するご注意

##### 〈HUB設置タイプの場合の機器接続方法〉

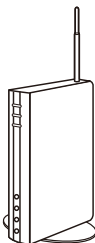
ブロードバンドルータとスイッチングHUBは下図を参考に接続してください。



##### 〈ルータの設置について〉

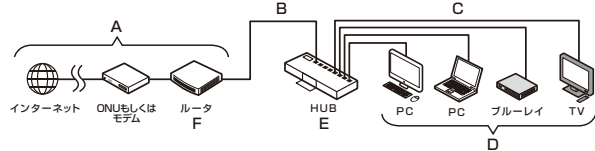
本情報盤にはルータが含まれておりませんので、必要に応じて別途ご用意ください。無線LANルータを情報盤に収容した場合、電波が正しく届かない可能性があります。

その場合、無線機器の居室内への設置、またはWi-Fi情報コンセントの設置をおすすめします。



#### 故障かな?と思ったら

##### LAN (情報盤搭載関連部材: HUB)



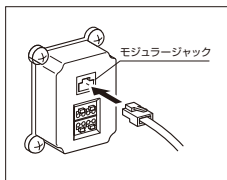
チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 インターネット回線に異常はないか	A	インターネット回線自体に不具合が起きていませんか?回線業者様にお問い合わせください。
2 モデムやルータ、HUB等に異常、接続ミスはないか	A、E	各通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか? (※)
3 LAN配線、LANコンセント、LANケーブルに異常はないか	B、C	各通信機器間で断線や接点部の接触不良が起きていませんか?LAN、ケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてみてください。壁内のLAN配線については、ハウスメーカー、電気工事店様に点検をご依頼ください。
4 ルータ機能、もしくは接続は正しいですか?	B、F	ルータ機能もしくは通信機器の接続は正しいですか?ルータ機能が無いと複数個所で同時にインターネットにつながりません。(※)
5 使用端末に異常はないか	D	お使いのパソコン等の機器に不具合が起きていませんか?最近設定変更をした、調子がおかしい等。(※)

※各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様、回線業者様にお問い合わせください。上記とあわせて、Abianact Gigabit HUBの取扱説明書 (AH-08GPM-02、AH-14GPM-01 搭載の場合) もご参照ください。

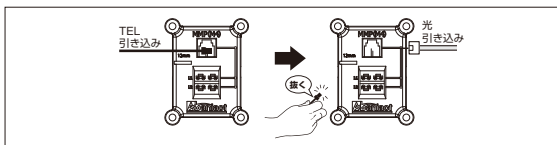
#### TELに関するご注意

##### 〈マルチメディアパネルへの接続方法〉

光 (IP) 電話アダプタを接続することで、各部屋で電話がつながるようになります。接続にあたっては、電話アダプタ付属のモジュラーケーブルを利用して、下図のように、上部のモジュラージャックに接続してください。

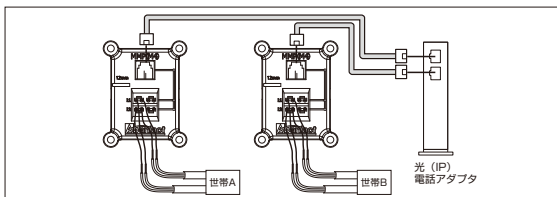


光電話などをご利用の場合は、モジュラージャックに接続されている「TEL引き込み線」を外してください。



2世帯などで、電話番号を2番号利用する場合は、マルチメディアパネルを増設し、回線(番号)ごとに配線系統を分けてください。

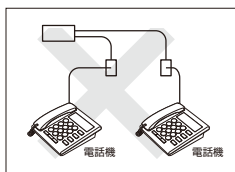
※マルチメディアパネルの追加は、本情報盤を施工された工務店、電気工事店などを通じて購入してください。



##### 〈電話機の接続について〉

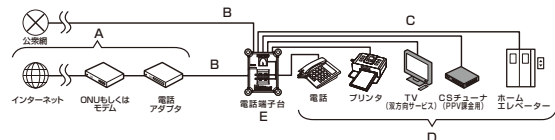
電話回線1回線(1配線)に、複数台の電話機を接続(ブランチ接続)しないでください。

FAXの通信エラー、ナンバーディスプレイなどの機能に支障があり、正常に動作できなくなることがあります。



#### 故障かな?と思ったら

##### 電話 (情報盤搭載関連部材: 電話端子台)



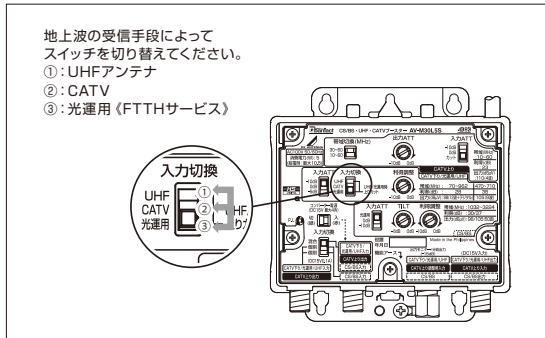
チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 インターネット回線に異常はないか	A	電話回線もしくはインターネット回線に不具合が起きていませんか?契約内容も含めて、回線業者様にお問い合わせください。
2 モデムや電話アダプタに異常、接続ミスはないか	A	通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか? (※1)
3 TEL引き込み線に異常はないか	B	外部引き込み線、もしくは電話アダプタ~電話端子台間の接続ケーブルに断線や接点部の接触不良が起きていませんか?ケーブルの抜き差しもしくは、交換をしてみてください。
4 TEL配線、モジュラージャック(電話コンセント)、モジュラーケーブルに異常はないか	C	断線や接点部の接触不良が起きていませんか?モジュラーケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてみてください。壁内のTEL配線については、ハウスメーカー、電気工事店様に点検をご依頼ください。
5 使用端末に異常はないか	D	お使いの電話機等端末機器に不具合が起きていませんか?最近設定変更をした、調子がおかしい等。(※1)
6 電話親機を一つの電話回線に2台以上つないでいないか	D	電話親機を、一つの回線(配線)に複数台同時につないでいる(※2)と、ナンバーディスプレイやFAX、電話の呼び出し音などが正常に動かなくなります。電話親機の接続は1台だけにしてください。(プリンター、FAX専用機、チューナ等は除く)(※1)

※1・・・各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様にお問い合わせください。  
 ※2・・・ブランチ接続

# TVに関するご注意

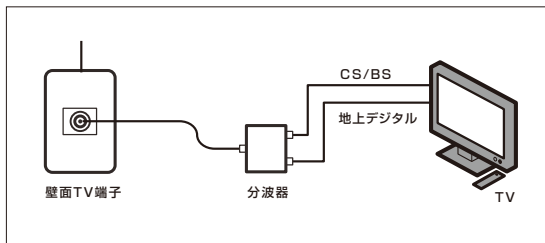
## 〈ブースタの設置〉

安定したTV視聴のため、ブースタの設置を推奨します。  
マルチブースタの場合、UHF、CATV、光運用 (FTTH) のいずれにも対応可能です。



## 〈分波器の設置〉

地上波と衛星放送を混合して分配している場合、分波器を使って、TVチューナーまたはレコーダの入力端子に接続してください。



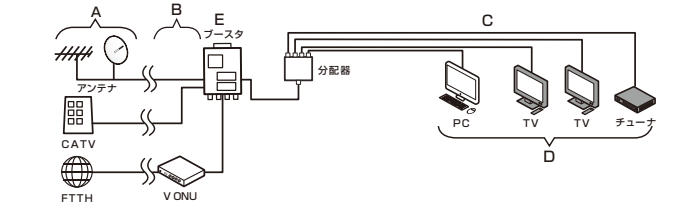
## 安全上のご注意

- 施工する前に必ずお読みください。
- ここに示した内容は、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。
  - 使用されている警告表示および図記号の意味は以下のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
- 警告** この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性は想定されることを示しています。
  - 注意** この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定されることを示しています。
- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
- 禁止(してはいけないこと)を示します。
  - 強制(必ず守ること)を示します。

- 警告**
- 屋外または外壁の内壁面に設置しないでください。本製品は、屋内専用となっています。
  - 電源コードや内部機器を加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、なめたり、束ねないでください。また、重い物をおかけしたり、はさみこんだりしないでください。本製品や内部機器の故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
  - アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の場合に感電する可能性があります。
  - 交流100Vで使用してください。過電圧を加えると過熱し、故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
  - 付属の電源ケーブルを使用してください。本製品の付属以外の電源ケーブルを使用した場合、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
  - 電源をONにした状態で本製品や内部機器の操作や接続をしないでください。感電の原因になる可能性があります。
  - 本製品を壁面に確実に取り付けてください。天井面や上下逆さ、傾ける等の不安定な状態で取り付けられた場合、本製品の脱落によって怪我や故障の原因となる可能性があります。
  - 低圧室内配線と弱電配線が接触しないように配線を行ってください。
  - 結露する場合は、電線を端子の裏まで確実に差し込んでください。
- 注意**
- 以下の場所に設置しないでください。直射日光のあたる場所、暖房器具などの近くなど高温になる場所、台所、浴室、洗面所などの水気や湿気の多い場所、振動の大きい場所、急激な温度変化のある場所(結露するような場所)、ほこりの多い場所やゆづたん等の保温性、保湿度の強い場所、腐食性ガスの発生する場所、強い磁気や電磁波が発生する装置がある場所、壁の中などお手入れが困難な場所、住宅以外の屋内設備(本製品は家庭環境における使用を想定しています)。
- 本製品や内部機器が損傷することによって、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。

## 故障かな?と思ったら

TV (情報盤搭載関連部材: マルチブースタ、分配器)



チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 アンテナ、CATVもしくはFTTH (光) 回線に異常はないか	A	各種、TV放送の受信状況に不具合が起きていませんか? アンテナ受信の場合: アンテナの向きがおかしい、混合器の不具合、付近の建物環境の変化等からくる受信障害、など。CATV、FTTHの場合: 局側の放送障害、VONU、チューナー等の不具合等。詳細は、各放送業者様もしくはTV工事業者様にお問い合わせください。
2 同軸 (TV) 引き込み線に異常はないか	B	アンテナ、CATVからの引き込み線、もしくはVONU~ブースタ(分配器)間の接続ケーブルに断線や接続部の接触不良が起きていませんか? TV工事業者様に点検をご依頼ください。
3 同軸配線、TVコンセント、同軸ケーブルに異常はないか	C	ブースター~分配器~各端末機器間で断線や接続部の接触不良が起きていませんか? TVケーブルの抜き差しもしくは交換をしてみてください。壁内の同軸配線については、ハウスメーカー様、電気工事店様に点検をご依頼ください。
4 使用端末に異常はないか	D	最近設定変更をして調子がおかしいなど。お使いのTV等の機器に不具合が起きていませんか? 各機器付属のマニュアルをご参照しながら、機器メーカー様にお問い合わせください。
5 ブースタの接続・設定・調整は正しくなされているか	E	各引き込み線とブースタの接続手順に誤りや、各種スイッチ設定、出力値のつまみ調整が正しくない場合、「映らない」「ノイズが混じる」といった現象が起こります。詳細は、各放送業者様もしくはTV工事業者様にお問い合わせください。

上記とあわせて、マルチブースタの取扱説明書、簡単・接続/設定ガイド (AV-M30LS5搭載の場合) もご参照ください。

施工編  
取扱編

## 製品保証書

製品名/型式	アビエレクト情報盤 /		製造番号	
ご購入日	年	月	日	保証期間
				ご購入日より 1年間
お客様	フリガナ お名前	様		
	ご住所 〒 -			
		電話番号( )	-	
販売店/工務店/電気施工店	店名・住所 〒 -			
		電話番号( )	-	

**【保証規定】※必ずお読みください。**

第1条(保証内容)  
当社は、お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意事項に従った使用状態で保証期間内に本製品が故障した場合には、本規定に基づき、無償により修理または取り替え(以下、「修理等」といいます)を行います。

第2条(保証手続)  
1. 保証期間内に本製品が故障して修理等を受ける場合、  
①本製品が取付け対象とならないときは、本製品および本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。  
②本製品が取付け対象となるときは、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理等に際して本書をご提示ください。  
2. 持込修理の対象商品を直接当社へ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また、当社が出張により修理等を行った場合には、出張費用はお客様の負担となります。  
3. 本製品を取り替えた場合には、回収した本製品の所有権は当社に帰属致します。

第3条(先買)  
1. 以下の各号のいずれかに該当する場合、当社は本製品に関して保証責任を負いません。この場合、有料対応となります。  
①使用上の誤り及び不当な修理又は改造による故障及び損傷  
②お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷  
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、雷害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷  
④お客様の設置工事の不良によって生じた故障及び損傷  
⑤お客様により本製品の分解・改造・補修・付属品取り付け等が行われた場合

第4条(その他)  
1. 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
2. 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて修理等をお約束するものです。従って、本書によって当社及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は当社までお問い合わせください。  
3. お客様にご記入頂いた個人情報、保証期間中のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

(ES03 第3版)



**因幡電機産業株式会社**  
産機カンパニー ハウジング統括部

お問い合わせ先

- WEB入力フォーム  
<https://www.inaba.co.jp/contact/abaniact/#8>
- コールセンター  
 **0120-390-833**

AB-施取-23-0